



風は海から

令和3年9月1日
令和3年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより9月号 No.5

今できること

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

校長室の窓からきれいなピンク色の花が見えます。近づいて見てみると、百日紅の花でした。百日咲くというその名の通り、この長い夏休みの期間もずっときれいに咲き続けてくれていました。

昨年と違って40日近い夏休みがあり、子どもたちも楽しく過ごせるだろうと思っていたところ、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、やはり昨年同様厳しい夏休みになってしまいました。さらに、こここのところの爆発的な感染の影響で8月27日に始まる予定だった学校も、9月1日に再開となりました。夏休み後半になってからの突然のお知らせで、友達との再会を楽しみにしていた子どもたちも、心配や不安、戸惑いなどが多かったのではないかと思います。学校では、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、丁寧に向き合い指導していきます。学級担任だけでなく、学年、児童支援専任、学校カウンセラーなど、いろいろな立場の教職員がそれぞれ協力しながら対応していきますので、何かありましたら、どうぞ学校までご相談ください。



学校は感染拡大防止の観点から、13日まで分散登校・短縮授業を行います。分散では学級を2つのグループに分け、教室内の密を避けるとともに、授業を40分に短縮し、合間の時間を換気や手洗いタイムとします。また、学級での活動を基本とします。しばらくの間は、全学年が交流するたてわり活動や、委員会、クラブ活動などを制限しなければなりません。秋に向けてたくさんの行事を控え、活動を楽しみにしていた子どもたちも多いのではと残念な気持ちでいっぱいです。個々の行事については、今後の状況が分かり次第、お知らせしていきます。

この夏休みの間、私たち教職員は子どもたちを迎える準備をしてきました。校舎内外の清掃やワックスがけ、花壇の雑草取りや子どもたちが育てている動植物の世話、教室や教員室の学習用具や備品の整理、パソコンやタブレット端末の整備、これからの学校教育をどう進めていくかオンラインで研修を受講したり、教職員間で情報を共有したりしました。どれも夏休み明けに子どもたちが豊かな環境の中で、分かりやすく、そして楽しく学習ができるようにと、子どもたちの姿を思い浮かべながら、心をこめて真摯に取り組んできたものです。新型コロナウイルスに関しては、予測不能な事態となっており、いつになったら収束して元の通りの生活に戻れるのか、未だ結論は見えてきません。ただ、言えることは「**今できることを着実にやっていくこと**」だと考えています。学校では今一度、感染症対策の基本に立ち返り、換気をしっかりとすること、密を避けること、手洗いをするなど一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。同時に、このような状況下であれば、誰が、いつ感染したとしてもおかしくありません。感染したことが中傷や差別、偏見につながるないように、誰もが笑顔で暮らせる社会になるように、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めていきたいと考えています。保護者、地域の皆様には、今後とも子どもたちを温かく見守っていただけたら幸いです。